

山梨県における 産後ケア事業の実際について

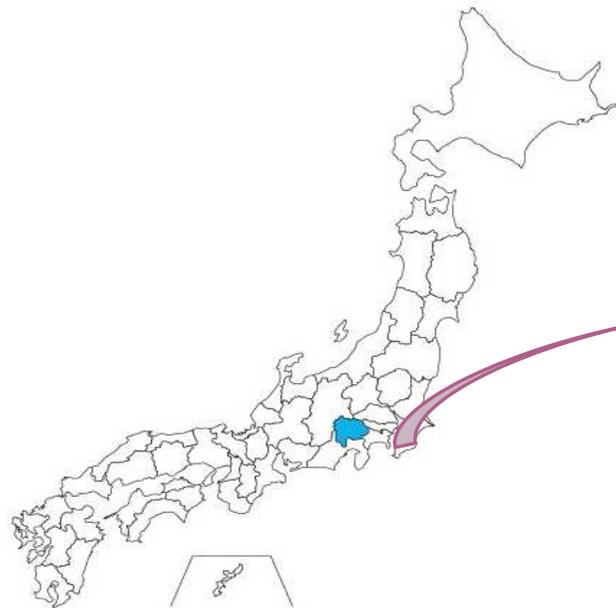


山梨県子育て支援局子育て政策課



山梨県産前産後ケア事業PRキャラクター
「さんごちゃん」

山梨県の概要



令和3年現在

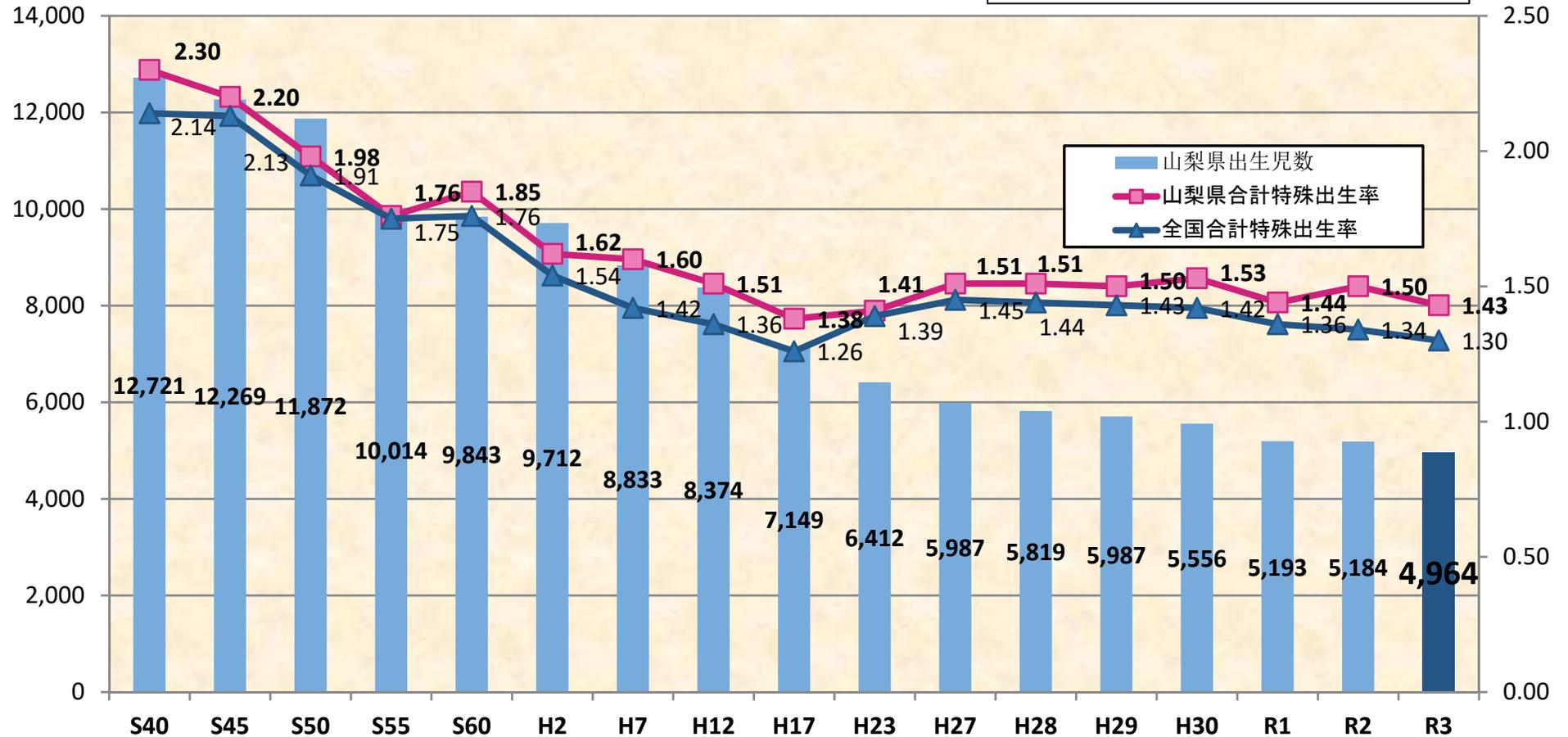
項目	数
人口	804, 749人
出生数	4, 964人
分娩取扱医療機関数	17カ所(病院8、診療所9)

山梨県の少子化の現状



出生数は年々減少、合計特殊出生率も低迷している。

厚生労働省「人口動態統計」抜粋



産前産後ケアセンター事業開始の経緯



- 平成25年5月 県庁内に少子化対策に関するプロジェクトチームが組織化

- 平成25年9月 プロジェクトチーム中間報告
【妊娠・出産分野における課題】
 - 産後の母親への支援の充実
 - いつでも気軽にきめ細かく相談に応じられる環境の整備



新たな産後育児支援あり方検討事業の実施

新たな産後育児支援あり方検討事業



○ 産後育児支援を検討するためのニーズ調査及び分析

- ・ 妊娠中から1歳6カ月児までを養育している母親1,427人

○ 産後育児支援のあり方検討委員会の開催

【ニーズ調査・検討委員会の検討結果から導き出された課題】

- ・ 2人以上の子どもを望む人は9割を超えているが、欲しい子どもの数まで達していない人が3人に1人(理由:経済的理由、高齢出産、育児負担)
- ・ 約8割が核家族
- ・ 母親の育児体験の減少
- ・ 出産のための入院期間の短期化

宿泊しながら母親の回復と育児技術指導を提供する事業の必要性

事業の必要性について



○ 宿泊しながら母親の回復と育児技術指導を提供する 事業の必要性

- ・ 少子化・核家族化→赤ちゃんに触れる体験の減少
慣れない育児への不安を抱える母の増加
- ・ 出産の入院期間の短縮→体力が回復しないままの退院
- ・ 出産後の母親に対する支援の不足傾向



産前産後ケアセンターの設置



産前産後ケアセンターの設置に向けての動き



○ 先進事例の研究(世田谷区)

○ 関係機関、団体への事業説明、協力依頼

- 各市町村長(各市町村への訪問、市長会、町村会における説明等)



- 県産科婦人科学会、県産婦人科医会、県看護協会、
県助産師会等

○ 予算、設置場所の確保。

母子保健の
主体は市町村
県の立ち位置は？

産前産後ケアセンター事業の概要



宿泊型 産後ケア 事業 (委託)

対象者:産後ケアに不安を持つ
産後0~4か月までの母児

- ◇助産師、保育士などによる心身へのケア
- ◇育児に関する相談・指導
- ◇母親同士の交流

24時間対応 産前産後 電話相談 事業(委託)

対象者:産前から産後までの期間において
不安を持つ方(妊婦、産後の母親、その家族等)

- ◇24時間対応の助産師による電話相談

その他自主 事業

- ◇ベビーマッサージなど関連する各種事業



安心感
を得て
自宅
育児へ

県と全市町村による広域連合体の設置



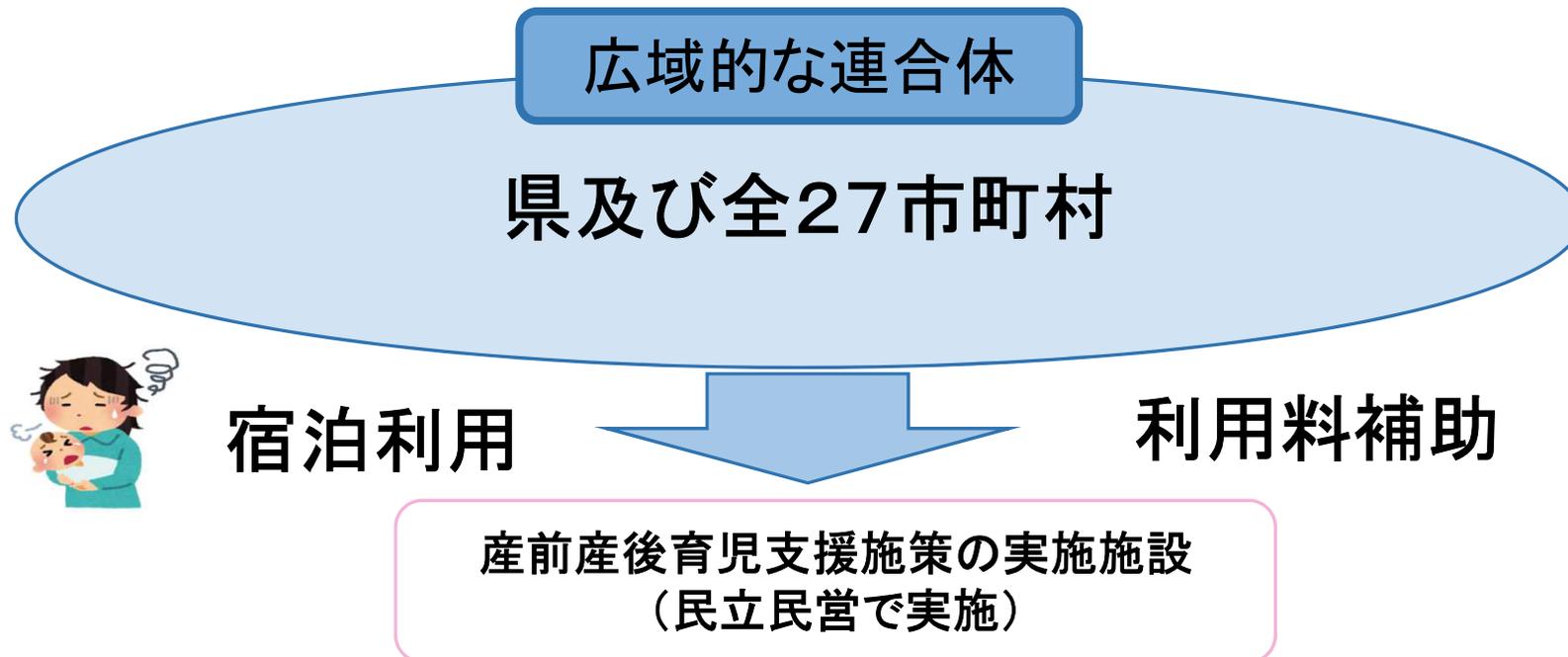
- 人口規模が小さい自治体であっても宿泊型産後ケアサービスの提供が可能
- 医療機関や助産師会等の専門家と連携したサービス提供が可能
- 県内の全市町村が、母子保健事業について見直し、必要なサービスを検討
- 全市町村関係者における連携

山梨方式による運営の提案

山梨方式による運営



- ・事業の遂行能力や効率性に着目し、専門的な能力を持つ事業者を公募し、
民立民営で実施
- ・全県的にバランスのとれた支援を実施するため、県と市町村で構成する広域的
な連合体を実施主体とする



地理的特性からみた施設の所在地



○県全体が比較的コンパクト

○分娩取扱施設が県の
中央部に集中



○施設の候補地は、県内の
ほぼ中央に位置する県有地

○施設の所在地は、県内どこ
からでも車で約1時間以内



実施事業者の公募・選定



民立民営で、企画提案方式にて選考



【契約先】学校法人富士修紅学院

県内で看護学部を有する健康科学大学を持つ法人

【契約内容の概略】

建設費の1/2まで(上限:70,000千円)

県有地の貸与

宿泊型産後ケア事業利用費の一部助成

電話相談事業を委託

自主事業については要相談

平成28
年1月
事業開始

産前産後ケアセンターについて



- 利用の流れ
 - ・利用希望者→市町村へ申請
 - ・市町村→利用者へ連絡票、センターへ情報提供
 - ・利用希望者→センターへ電話にて宿泊予約
 - ・センター→市町村へ利用状況報告、県への実績報告

- センタースタッフ
 - ・助産師17名、心理職2名、保育士1名、事務職2名

- 部屋数
 - ・6部屋(和、洋室) ※未就学児の兄弟と同宿できる2部屋含む

利用実績



山梨県産後ケア事業(宿泊型産後ケア) 利用状況

	宿泊者数(人)	宿泊数(泊)	年間出生数による割合(%)
R1	334	800	6.3
R2	281	673	5.4
R3	324	788	6.3

23市町村が利用
(未利用4町村)

【参考】

H28は年間出生数
に対して3.2%

山梨県産前産後電話相談 利用状況

- 24時間365日対応
- 年間約800件(R1～県内のみ)
※R1以前は年間約2,000件(県外含む)



利用のきっかけ、満足度



○ 宿泊型産後ケア事業利用のきっかけ(R3)

N=295

きっかけ	市町村 保健師	友人 知人	出産 施設	広報 媒体	家族	子育て 支援者
人数	215	91	79	34	32	20
割合	72.9	30.8	26.8	11.5	10.8	6.8

○ 宿泊型産後ケア事業利用の満足度(R2)

N=281

満足度	満足	やや満足	普通
人数	262	17	2
割合	93.2	6.0	0.7

利用のきっかけは
市町村保健師が
最も多い
満足度はほぼ100%

産後ケア関連事業



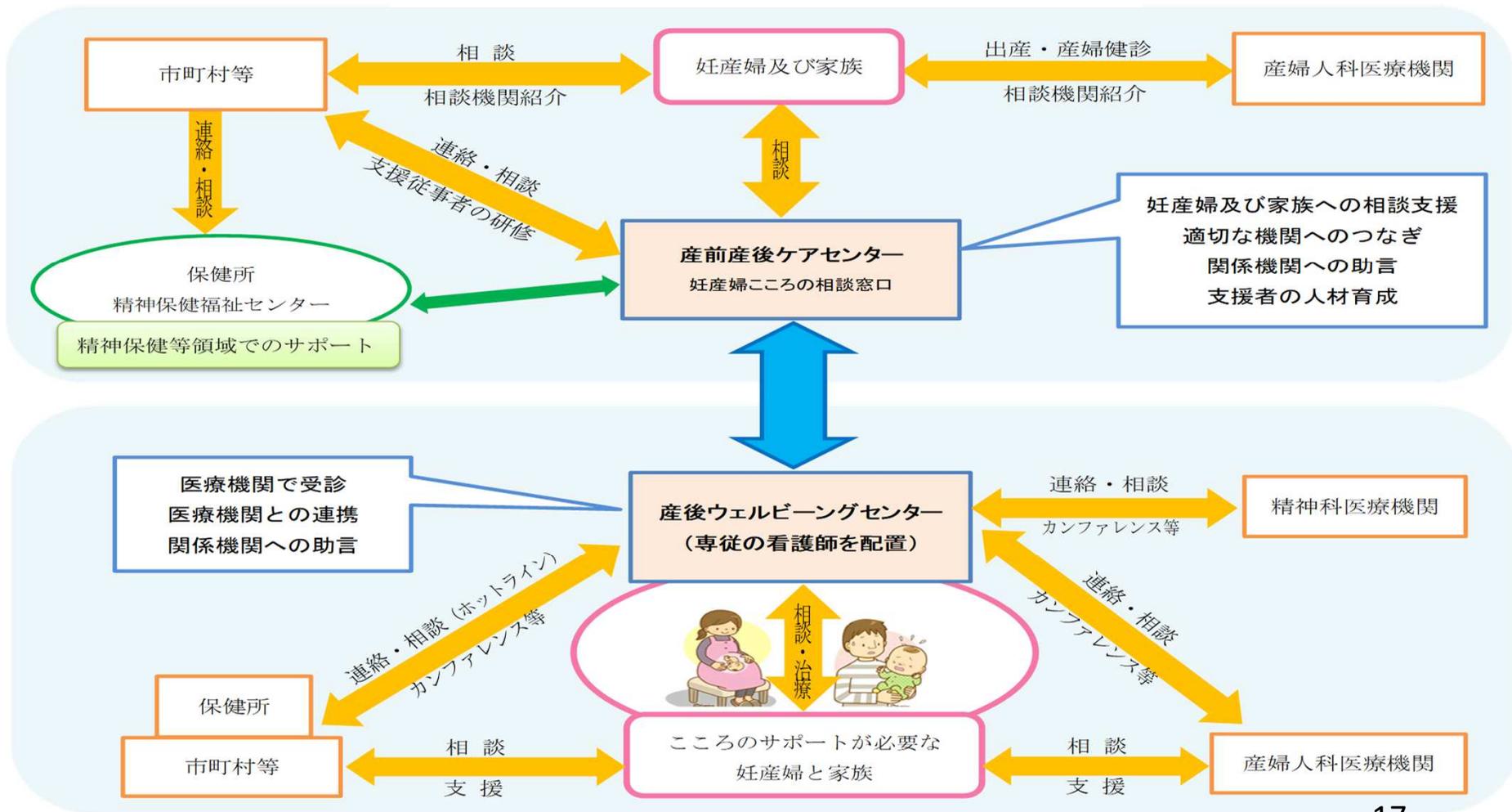
○ 産前産後ケアセンターPR事業

- 産前産後ケアセンターの魅力について、マスメディアを通じて効果的に周知し、利用促進につなげる。
- 新聞、子育て情報誌への広告掲載、テレビCMの放映など

○ 妊産婦メンタルヘルスサポート体制強化事業

- 心理職による相談事業
- 人材育成事業
(市町村職員等対象の研修、専門医によるスーパーバイズ)
- 産後うつ予防事業の普及啓発
- 産後ウェルビーイングセンターへの専従看護師の配置
(関係機関職員と専門医をつなぐ調整役)

妊産婦メンタルヘルスサポート体制強化事業



まとめ



以上から考えられることは次のとおり

- 小規模市町村による実施が困難な事業については、広域的な連合体を構成することが有効である。
- 県は広域的に全体を見ながら各市町村、関係団体、機関との調整を果たす役割がある。
- 宿泊型産後ケア事業は利用者の満足度が高く、産後の母親の不安軽減に一定の効果がある。
- 宿泊型産後ケア事業利用前後も妊産婦メンタルヘルスサポート事業の活用などを通して妊産婦を支援していくことが必要

参考：産前産後ケアセンターの紹介



健康科学大学産前産後ケアセンターホームページより抜粋

【施設紹介】

お母さんがゆったりお過ごしできるよう、自然の陽の光がやわらかく射し込み窓からは木々の緑が眺められるように考えられたつくりになっています。石和温泉の源泉を利用し足湯を設置しました。また宿泊利用者の方の浴室にも源泉を利用してありますのでゆっくり体の疲れもとっていただけます。



相談室

個別にゆっくりご相談ができます。母乳のケアも受けられます。



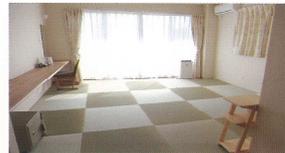
食堂

体にやさしい食事を楽しくお話しながらどうぞ。食後は庭をながめてゆったりできます。



居室(洋室4和室2)

明るく静かな環境です。上のお子さんも宿泊できる広めのお部屋もあります。



ホール

中央には常に助産師がいます。宿泊利用のお母さん方が楽しく情報交換出来るスペースです。



多目的スペース

ベビーマッサージや母乳教室などを開催します。日当たりが良く冬でも床暖房で暖かい環境です。



浴室

温泉を利用した広めの浴室です。産後の腰痛や肩こりの解消、母乳分泌にも効果的です。

【滞在型産後ケア】

① 宿泊型(山梨県産後ケア事業)

お母さん一人ひとりの体調やニーズにそって助産師がケアいたします。授乳や沐浴、抱き方などの基本的な育児技術もじっくり体得できます。睡眠不足で疲労感の強いお母さんには短時間でもぐっすり眠れるよう工夫いたします。また、栄養バランスを考えた産後の体に優しい食事で疲労回復も早まります。4日間程度の滞在中に少しずつゆっくりと慣れて家庭へ戻りましょう。家庭に戻ってからの子育てをお互いにサポートしあえるような、お母さん同士の交流の機会をもったり、お住まいの地域の子育て支援情報を提供いたします。

● 利用料金

1泊2食 6,100円(昼食別途900円)

基本料金 33,900円のところ、27,800円分は山梨県とお住まいの市町村から補助されます。

※ 利用したい方はお住まいの市町村の母子手帳を交付された窓口で申請が必要です。上のお子さんと一緒に滞在することもできます。(有料)

② 日帰り型ケア

● 個別ケア

(地域、月齢に関わらずどなたでもご利用できます)

◇母乳ケア 1時間コース/5,000円

30分コース/3,000円

◇育児相談 30分/2,000円~3,000円(内容により)

◇カウンセリング 30分/5,000円

● 健康教室

参加費 1,000円~2,000円(教材費により)

◇ベビーマッサージ

◇おっぱいクラス

(妊娠中からのお手入れの仕方、授乳方法の実際、食事について)

◇ストレッチクラス(産前産後の腰痛、肩こり、しびれ等の対策)

◇冷え対策クラス

◇ママババクラス

◇孫育て講座(祖父母にむけての現代の子育てについてのお話)